

---

# その命は何のために

SINC

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

その命は何のために

### 【Nコード】

N7470N

### 【作者名】

SINC

### 【あらすじ】

『家族』を無くし、生きる意味を無くした少年、八神 刀哉。だが、幻想郷の賢者、八雲 紫が現れ、刀哉は幻想郷に引き込まれた。

その真相は如何に・・・

## プロローグ 全てを無くした日々

ある日、自分はこの世界に生きる意味を無くしてしまった。

今、自分がいる場所は葬式場だ。そこにはある人がただ静かに眠っていた。

名前は、八神 鞘。

・・・自分より3つ歳上の姉である、彼女は数週間前、ある事件に巻き込まれ、二十歳というこれからという時にその命を落とした。自分と鞘姉さんは両親がいなかった。

母は自分が7歳の時、ガンが急激に活発化し、治療をしても、長くは持たず、数ヶ月後亡くなった。

父は、海外出張時、飛行機事故が起こり、命を落とした。あれは自分が10歳の時だった。

鞘姉さんは両親が亡くなって以来、たった一人で自分を育てようと決心し、まだ13歳だと言うのに、家事全てをこなしていた。金は親戚からもらっていたので、学費等は問題なかったが、自分たちの生活には少し足りないほどであった。

そして、鞘姉ちゃんは高校に入った瞬間、すぐにアルバイトを始め、少しでも金を稼ぐために、日々働いていた。

自分も大きくなり、鞘姉さんのためにも家事を手伝おうと思い、必死に家事を覚えていた。

そんな過酷な日々でも、自分は楽しかった。両親が亡くなった時は凄く悲しかった。

でも、鞘姉ちゃんは自分を励ましてくれた。姉ちゃんも凄く辛いはずなのに。

だから、自分は生きていけると思った。

唯一の家族である、鞘姉ちゃんがいたから。

なのに……

何で……

何で……

「死んじゃうんだよ……鞆姉ちゃん……」

葬式には自分達の親戚や、鞆姉さんの友人等、色んな方々が来訪してくれた。

色んな方に言われた。

『お姉さん残念だったわね……。』

『あなたの面倒は私が見るから……。元気出して？』

『私も鞆ちゃんが死んで、悲しいよ……。でも、弟君の方がもっと悲しいよね……。うっ……。』

自分を慰める人、鞆姉ちゃんの死を悲しんでくれる人、みんな自分と鞆姉ちゃんのことを想ってくれた。

でも、どうでも良かった。  
ただ自分は考えていた。

このまま生きている意味はあるのだろうか？  
独りになつたわけではない。

親戚もいるし、友人だっている。

だが、『家族』はもういない。

母も、父も。

そして・・・鞆姉ちゃんも・・・

葬式が終わり、数日後。

自分はあるビルの屋上にいた。

あれから、ずっと考えた。

自分はこれから何をすればいい？

何を考えて生きればいい？

・・・何も無かった。

無いのなら、もう死んでもいい。

だから、自分・・・八神 刀哉は死を選んだ。

だが・・・

「そんな簡単に死を選んでもいいのかしら？」

突如、後ろから声がした。振り向くとそこには、女性がいた。

紫色のドレスを着ていて、頭に妙な帽子を被り、日傘を持っている。

だが、服装はどうでも良かった。

今の時間はもう真夜中だ。普通なら、こんな時間には誰も屋上に来

ないはずだ。  
女性は言った。

「せつかくあなたはこの世界に生まれたのよ？その命を無駄するのは、良くないと思うのだけど？」

.....

何も知らないくせに。

何も知らないくせに.....!!

「何も知らないくせに何を言っているんですか・・・どこの人が知りませんが、生きるのも死ぬのも、僕の勝手でしょう。」

そっだ、この命は僕のだ。どうこう使おうが、自分の勝手だ。

「たった一つの命なのよ？だから、そう簡単に・・・」

「うるさい！もう僕には生きる意味が無いんだ！死なせてくれよ！  
！鞆姉ちゃんがいらない世界なんていらない！！こんな命なんていら  
ない！！！」

女性が言う言葉を無視し、自分は叫んだ。

何でこんなにも自分を生きさせようとするんだ。

分からなかった。

何故この人は・・・

「・・・そう。そこまでお姉さんが大切だったのね。でも・・・あなたをこんな所で死なせる訳にはいかないわ。」

死なせる訳にはいかない？どういうことだろうか・・・

「だから、あなたを、ある世界に招待するわ。八神 刀哉。」

そう女性は言った。

「ど、どうして僕の名前を・・・!？」

何故、この人は名前を知っているんだ。

「そんなことはどうでもいいわ。あなたは、この世界を捨て、あの世界で生きなさい。そう・・・幻想郷という世界で・・・」

「な、何を言っているんだ!? 僕・・・は・・・」

急に凄い眠気が襲い、意識が遠のく中、女性は言った。

「私、八雲 紫と幻想郷はあなたを歓迎するわ。八神 刀哉。」

そして、自分は・・・幻想郷という世界に引き込まれた・・・。

## プロローグ〈全てを無くした日〉（後書き）

初めまして、SINCと申し上げます。

ここまで読んでいただきありがとうございます。

全く東方のキャラが出ていませんね・・・すみません・・・

次話から本格的にスタートするので、もし気になりましたら、また読んでいただけたら、嬉しいです。

まだまだ未熟な者ですがよろしくお願いします。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n7470n/>

---

その命は何のために

2010年10月11日23時55分発行